目標の進捗状況報告書

(2012年度•大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目·要素と担当部局

本シートの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	理工学研究科
大項目	4 教育研究組織 (研究科)
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。
要素	教育研究組織の編制原理
	理念・目的との適合性
	学術の進展や社会の要請との適合性
	(KG1)研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

Ⅱ. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度~2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。 進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。 A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。

目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。

目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」			
1. 教育研究組織が、理念・目的に照らして適切なものであるか1年に1回学部長室委員会で定期的に検証を行う。	→学部長室委員会での検証状況。			



2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」		2009	2010	2011	2012	2013
	\rightarrow						
	\rightarrow	$\qquad \qquad \Box \\$					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

学部長室委員会及び研究科委員会において毎年「理工学研究科の理念・目的」を配布して教育研究組織との整合性を検討している。 2011年度には、2009年度に設置した人間システム工学科の完成にともない2013年度より理工学研究科に人間システム工学専攻を設置 目標1 することを決定した。理工学部に新学科を増設する方針が大学評議会で承認されたのを受けて、今後理工学研究科の具体的な充実策 の検討が必要である。 備考